

# 学生担当者報

4  
Vol.386

発行／天理教学生担当委員会 発行責任者／松村孝吉 編集責任者／福江弘一  
 [TEL] 0743-63-1511 (内線 5817) (直通) 0743-63-2489 [FAX] 0743-62-5780  
 [E-Mail] tsa@tenrikyo.or.jp [TSA website] http://tsa.tenrikyo.or.jp

立教182年  
平成31年3月25日発行



## 新たな発見と、心に残る素晴らしい機会に

担当者活動部 委員

中山 祥吉

く違うと知られた時。人はきっとその時、新たな発見に驚き、心に大きな影響があるでしょう。

実は私も最近そのような体験をしたのです。そう、NHK「チコちゃんに叱られる」で。お内裏様とは誰のこと?おひなさまとは誰のこと?皆さんは知っていますか?私は見事に「ボーッと生きてんじゃねーよ!」と呼ばれるよう思い込みをしていました(気にならぬ人はどうぞ調べてください)。

さて、本題に移ります。

私の教会につながっている未信者家庭の女の子。春学を通じて教区学生会に参加しました。今では教区学生会のスタッフとなり、誘われる側から誘う側になっています。参加しはじめた頃、楽しそうにしているその子に聞いてみました。「なぜそこまで出来るの?」答えはすぐに返って来ました。「学校の友達はない、温かさがあるんです。」

知らないかった事を教えてもらつた時、また思い込んでいた事が全然違つた時、心に大きなかつた受け取り方が違うんです。そして嫌なことがあっても、それを受け入れてくれる。そんな雰囲気がある。私もそんなんになりたくて。

この答えを聞いて、私は学生会はりがたいところだと本当にそう思いました。私が彼女にしたことといえば、春学に参加してみない?という声かけだけでしたから。

そんな彼女。今度は「まなびば」に誘われて参加しました。「えー、そななのー!」と思ったかどうかは知りませんが、とにかく色々な事を学び、感じて来てくれました。感想を聞いた最後に「会長さん、教理勉強したいんですけど」。まさかの言葉に、「ボーッと生きてんじゃねーよ!」と言われたよ。

生きてんじゃねーよ!」と言われたような気がして、本当にびっくりし、嬉しさもあり、喜ばせてもらいました。きっと彼女は、「まなびば」に行くきっかけは学生会の仲間がいたからだと思います。そしてきっと楽しいだらうという気持ちだけだったはずです。しかし、仲間と共に語り合い、心を通わせていくうちに、お道の教えに興味

## 学生担当者報

四月例会		学生層育成者講習会		日程・会場案内		お知らせ	
・期日	立教182年4月25日	・時間	15時30分受付	・時間	16時開始	・立教182年3月25日	立教182年3月25日
・場所	教序4階講堂	・場所	教序4階講堂	・場所	教序4階講堂	・香川	2月10日 教務支庁
・【教区】	愛知	・【教区】	愛知	・【教区】	愛知	・香川	2月10日 教務支庁
・【直属】	4月28日 12時30分	・【直属】	4月28日 12時30分	・【直属】	4月28日 12時30分	・松阪	2月20日 大教会
・・錦江	4月6日 12時30分	・・豊岡	4月18日 19時	・・西成	4月22日 12時30分	・・笠岡	2月21日 大教会
・・櫻井	4月24日 12時	・・大教会	大教会	・・大教会	大教会	・・上之郷	2月21日 大教会
・・岡山	2月2日 教務支庁	・・詰所	詰所	・・甲府	2月22日 大教会	・・東愛	2月22日 大教会
・・滋賀	2月2日 教務支庁	・・大教会	大教会	・・富松委員出向	富松委員出向	・・越乃國	2月22日 大教会
・・大分	2月2日 教務支庁	・・田邊委員出向	田邊委員出向	・・甲府	2月22日 大教会	・・甲府	2月22日 大教会
・・岡山	2月2日 教務支庁	・・中島委員出向	中島委員出向	・・双名島	2月22日 大教会	・・双名島	2月22日 大教会
・・滋賀	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月23日 分教会	・・越乃國	2月23日 大教会
・・大分	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月23日 分教会	・・越乃國	2月23日 大教会
・・岡山	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・滋賀	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・大分	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・岡山	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・滋賀	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・大分	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・岡山	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・滋賀	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・大分	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・岡山	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・滋賀	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・大分	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・岡山	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・滋賀	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・大分	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・岡山	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・滋賀	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・大分	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・岡山	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・滋賀	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・大分	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・岡山	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・滋賀	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・大分	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・岡山	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・滋賀	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・大分	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・岡山	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・滋賀	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・大分	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・岡山	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・滋賀	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・大分	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・岡山	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・滋賀	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・大分	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・岡山	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・滋賀	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・大分	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・岡山	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・滋賀	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・大分	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・岡山	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・滋賀	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・大分	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・岡山	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・滋賀	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・大分	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・岡山	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・滋賀	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・大分	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・岡山	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・滋賀	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・大分	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・岡山	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・滋賀	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・大分	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・岡山	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・滋賀	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・大分	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・岡山	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・滋賀	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・大分	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・岡山	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・滋賀	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・大分	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・岡山	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・滋賀	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・大分	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・・中和	2月24日 大教会	・・中和	2月24日 大教会
・・岡山	2月2日 教務支庁	・・50名	50名	・			

## 学生担当者報

立教百八十二年

学生生徒修養会 大学の部 開催報告

「感じよう！ 表そう！ 陽気ぐらし」

去る三月三日、春の風が快い季節となつた親里において、本年も「学生生徒修養会 大学の部」を開催。四百八十八名の大学生が受講した（スタッフ二百三十五名）。今回は、初受講者が「よふき塾」（三十八母屋）と「いさみ塾」（高安詰所）。二回目が「つなぎ塾」（七・八・九母屋）。三回目以上または二回目の四年生が「みのり塾」（十二母屋）の四塾体制で実施され、お引き寄せいたいた学生達は、共同生活を通して絆を深め合いながら、「感じよう！ 表そう！ 陽気ぐらし」のテーマのもと、共に語り合い、励まし合いつつ、親神様の懷に抱かれながら、教祖の御教えに触れる充実した一週間を過ごした。

初日。緊張と不安と期待が交差するなか開講式を迎えた学生達は、その後、各塾での心をほぐす楽しいプログラムを通して、同班の仲間やカウンセラーと交流を深めながら次第に打ち解け合った。

二日目。学修最初の『講義』（塾別）では、よふき・いさみ塾「お道のすばらしさ～陽気ぐらしの実践～」、つなぎ塾「おさづけ」、みのり塾「おつとめ」と、受講回数や学年の違いに

より特性に合わせてテーマが分かれ、学生達は熱心に聽講した。また二日目・三日日の午後に『修練』があり、てどり、鳴物、祭儀式の中から希望しその習得に励んだ。

三日目。四つのテーマに別れた講義から一つを選ぶ『選択講義』では、それぞれの立場で道の用に活躍される講師陣のおたすけ話に聞き入った。また、『婦人会の時間』『青年会の時間』では、男女が分かれ、それぞれの徳分や役割について学び、ふりかえりの時間も持つた。

四日目。いよいよ学修のマーン行事である『にいがけ』を先陣を切つて務めたのが、受講二回目以上と二回目の四年生が集う「みのり塾」。午前中『にいがけ演習』『にいがけ講話』『にいがけ準備』を行い、午後からは奈良の各地に分かれ『戸別訪問』を実施、熱心にいがけに励んだ。その他の塾は午前中は『別席』や『廻廊ひのきしん』、午後は『にいがけ演習』『にいがけ講話』を経て、その後、仲間と共に励まし合いながら、それぞれに路傍講演の原稿作成や練習に取り組んだ。

五日目。よふき・いさみ塾、つなぎ塾の受講生達はにいがけの不安を抱きつつも、御存命の教祖のお伴をさせていただくことを誓い合つて、勇気を持ってそれぞれの布教地へと出発。よふき・いさみ塾は大阪で『路傍講演・神名流

し・リーフレット配り』を、つなぎ塾は奈良で『神名流し・路傍講演・戸別訪問』を展開。それぞれに仲間と共に勇ませ合いながら、夕刻おぢばに帰った。「ご存命の教祖にお喜び頂きたい！」その思いを持ち、仲間と共ににいがけを実践したことで、やりきった達成感と自信と充実感に満ち溢れた彼らの顔を見るのは、まさに学修・大学の部の醍醐味である。また「みのり塾」は午前中『着付け練習』を行い、午後からはおつとめ衣を着用し、『おつとめまなび』を厳かに一手一つにつとめた。

六日目。松村登美和先生による『本部員講話』では、陽気ぐらしの心の使い方や、ようぼくとしての思案の拠り所を分かりやすく丁寧にお話しされ、熱心に拝聴。午後の『感謝大会』では、各弁士の信仰への篤き思いに涙を流しながら熱心に耳を傾けた。

最終日。『閉講式』において、表統領 中田善亮先生より代表者に修了証書が授与され、引き続いて一同に対しても話をいただき、幕を閉じた。この度の学修で受講生のみならず、スタッフ一同も、陽気ぐらしを感じ、陽気ぐらしを表す一週間を過ごした。誠の心で人材の育成につとめる中で、「共に育つ」道の育成の精神を見落すことなく、今後も信仰を伝える学修の発展に努めていきたい。

学生生徒修養会 大学の部  
カウンセラーサー感想文

立教182年3月25日

私の担当した班では、事あるごとに飛び交っていたフレーズがありました。食堂でお茶をついでもらつたら「ありがとう！」といだスリッパを揃えてもらう、部屋の電気を消してもらう、ゴミを集めて捨てるてくれる。「ありがとう！」「いいえ～」。

これは班の生徒の誰から始まったのかはわかりませんが、気づいたときには浸透していたものでした。初日からとても仲の良かった班員たちが、互いに礼儀を忘れないようになら、または、ふともから出た言葉を気に入つただけなのかも知れません。

自分がされて嬉しいことを、その人にしてもらつたらすぐに感謝の気持ちを表す。そうするとその人からさらに（どう

いたしましてという意味の）「いいえ～」が返つてくるので、さらに嬉しくなる。そうしてまた、その人や他の人に對しても、自分も良いことをしたくなる。という循環がおこり、班の良い雰囲気づくりに繋がっていましたのだと思います。一人の「ありがとう！」に対して他の全員で揃つて「いいえ～」と返すことも何度もありました。そのおかげで、班は常に笑顔と感謝の心とが溢れんばかりの素晴らしい班になりました。

今回が大学の部初カウンセラーである私に、素晴らしい生徒をお与えいただきました。陽気の心と信仰に対しての熱意をもつた班員のために、ない頭をふりしほり悩みに悩んだ学修がありました。しかしそれは、班の皆の陽気ぐらしの姿から、元気を、パワーをもらえたから、その気持ちに答えたから、やりとげることができたのだと思います。班のみんな、本当にありがとうございます。

4月からは形態こそ変わりますが、「学生のためのHappist」されることに変わりはありません。Happistを通して、学生が信仰の喜びを感じてくれ、お道を信仰する仲間同士の共通ツールとして今後も活用されることを心から願っています。

出版部局員 木浦雅世

青 空

学生担当委員会の出版部に配属されてから六年。この六年間でたくさんのことを行ってきました。出版部の用は、主に「Happist」の制作です。私は、よりよい「Happist」を目指して、これまで編集に打ち込んできました。

そんな「Happist」が終刊になるにあたり、先日「Happist」発刊当時の方々から、「今まで続けてくれてありがとうございました」と温かく身に余るお言葉を頂戴し、ありがたい気持ちでいっぱいになりました。そして、お話を聞かせていただきました。「Happist」は二年間、「お道を信仰する学生のための機関紙」として、いろんな方の手で作り続けられてきたのだと実感し、私もわずかですが携わせてもらえたことを誇りに思いました。

四月からは形態こそ変わりますが、「学生のためのHappist」されることに変わりはありません。Happistを通して、学生が信仰の喜びを感じてくれ、お道を信仰する仲間同士の共通ツールとして今後も活用されることを心から願っています。

学生担当者報

立教182年3月25日

3

## 学生生徒修養会 大学の部

### 受講生感想文

日々の暮らしに感謝することの大切さを学ぶことができました。日本に住んでいれば何不自由なく生活ができるので、何に対してもありがたさを感じにくくなっているどころか、ちょっととしたことで不満を言つてしまつていて気づきました。この学修で、生きていること、ご飯が食べられること、体が元気であることが有り難いことなど学ばせていただきました。

（いさみ塾 男子）

改めてお道の教えを学ぶことによって、新しい知識や自分の新しい考えも生まれたし、もっと自分から進んでやらしてもらおう！という思いが強くなりました。

「当たり前」というありがたさ、助け合つて喜び合うことの尊さを感じることができた。新しい出会いによつて自分の足

りない部分も気づけたし、成長するヒントや答えをくれたので、とても良い刺激をもらいました。（いさみ塾 女子）

日々何気なく過ごしていく、感謝することも少なくなつていたと思いました。

何事も神様が与えてくださった御守護で、もつと幸せや喜びを感じながら生活しようとしました。

班のメンバーや新たに出会つた人達とこれからも繋がつていただきたいと思いました。にいがけは今まで不安ばかりで自分には…と思つていたけれど、みんなとすることで自分にもいがけができることが分かつて嬉しかつたです。

（つなぎ塾 女子）

他にも人の良いところを見つけて伝えることの大切さ、どんなことでも喜んで通らせていただぐことの大切さなど、沢山のことを感じ、学ぶ機会になりました。（みのり塾 男子）

## 立教百八十二年

### 学生生徒修養会 高校卒業生コース 開催報告

去る三月十日から十二日にかけて『学生生徒修養会 高校卒業生コース』を開催。

過去最多の受講生四〇五名（スタッフ百九十名）が参加した。今年で五回目とな

る本コースは、進学や就職などそれぞれの道へと進む大切な時期に、親神様の御教えを学ぶ中で、親神様、教祖はもとより親やこれまで自分を支えてくださつた方々への感謝の気持ちに気づいてもらうと共に、同世代の道の仲間との繋がりを深めることを目的に企画された。

二日目。自分自身の過去を振り返り、多くの人に支えられてきたことに気づくことをねらいとしたグルーピングタイムを行つた上で、「親神様の御守護」と題して

言葉を思い起こしながら、今の自分の正直な気持ちを語り合つた。

最終日には、主任より「明日の君たちへ」と題した講話を聴いた後、振り返るとともに、この三日間で学んだことを再確認した。そしてこの御教えを基に、この先自らがどう歩んで行くのか決意したことシートに書き記し、封筒に入れて持ち帰つた。これは、それぞれが新生活をスタートする頃、開封してシートを読み返すことで、おちばで学んだことや気づいたことを思い起こしてもらうための自分への宝物である。

『開講式』において、表統領 中田善亮先生より代表者に修了証書が授与され、引き続いて一同に対してお話をいただき、幕を閉じた。

夜には、ランタンを囲み、淡い光の中で、自分の信仰と夢を語る『班内感話』を行い、親や教會長さんなど、今まで育ててくれた方々に教えてもらったことや

二日目。自分自身の過去を振り返り、多くの人に支えられてきたことに気づくことをねらいとしたグルーピングタイムを行つた上で、「親神様の御守護」と題して

私は教校学園のマーチングバンド部出身で、天理教のことは三年間を通してかなり深いところで教えていただきましたが、一時帰省や卒業を通してどんどん信仰心が薄れている感じがありました。しかし、学修を通して改めて天理教のことについて学ぶことができました。本当にいい機会であつたと思います。学修を通して全く知らない人達と出会って、学修のプログラムに沿いながら通つていくうちに、実は巡り合わせの尊い仲間だということを気づくことができました。三日間でこんなにも深い関係を持てるることは純粋にすごいと思いました。この期間を通して人と人とのつながりが、なによりも大切だと思いました。

私は高校卒業生「ース」受講生感想文です。私は教校学園のマーチングバンド部出身で、天理教のことは三年間を通してかなり深いところで教えていただきましたが、一時帰省や卒業を通してどんどん信仰心が薄れている感じがありました。しかし、学修を通して改めて天理教のことについて学ぶことができました。本当にいい機会であつたと思います。学修を通して全く知らない人達と出会って、学修のプログラムに沿いながら通つていくうちに、実は巡り合わせの尊い仲間だということを気づくことができました。三日間でこんなにも深い関係を持てるることは純粋にすごいと思いました。この期間を通して人と人とのつながりが、なによりも大切だと思いました。

(男子受講生)

このコースに来る前はあまり行きたくなないと感じたけど、おぢばに帰ってきてみると、とても良い仲間と出会えて仕合われが幸せになつてきたと感じました。これまでの人生で天理教を避けて生きてきたようなどころがありました。でも、このコースを通して天理教に対する考え方が大きく変わりました。これからは天理教のことをもつとよく知り、もっと深く関わつていきたいです。

(男子受講生)

参加する前は、新しい環境で知らない人ばかりの学修に行くことが嫌だったけど、三日間を通して班の人と仲良くなれたこともそうだし、普段周りに天理教を信仰している同年代がないので話し合うことも無かったので、本当に良かったです。同じ高校生なのにみんなしっかりと自分の考えを持つていて、また私自身も口に出して初めて自分が考えていることを知つたり、自分で自身をみつめなおす機会になりました。講話

こんなに楽しくて素晴らしい学修に参加出来たことに感謝したい。みんな優しくて、フレンドリーでたくさん話してくれて、おぢばは温かいところだなと思った。グループワークも最初は緊張したけれど、だんだんと時間を重ねる毎に仲良くなつてて、深い話も聞けて良かったです。最高の仲間に出会えてなまら嬉しい。来るのが嫌やつたけど、逆にあの時行かんかったら後悔してた！つてくらい充実していく、ほんとに楽しかった。メンバーもみんないい人で、おぢばのお引き寄せを感じました。講話をたくさん聴いた中で、親のありがたみや、健康な体で過ごさせてもらっているところにたくさん感謝して生きようと思います。

(女子受講生)

このコースに来る前はあまり行きたくなないと感じたけど、おぢばに帰ってきてみると、とても良い仲間と出会えて仕合われが幸せになつてきたと感じました。これまでの人生で天理教を避けて生きてきたようなどころがありました。でも、このコースを通して天理教に対する考え方が大きく変わりました。これからは天理教のことをもつとよく知り、もっと深く関わつていきたいです。

こんなに楽しくて素晴らしい学修に参加出来たことに感謝したい。みんな優しくて、フレンドリーでたくさん話してくれて、おぢばは温かいところだなと思った。たのしかつたです。

(女子受講生)

このコースに来る前はあまり行きたくなないと感じたけど、おぢばに帰ってきてみると、とても良い仲間と出会えて仕合われが幸せになつてきたと感じました。これまでの人生で天理教を避けて生きてきたようなどころがありました。でも、このコースを通して天理教に対する考え方が大きく変わりました。これからは天理教のことをもつとよく知り、もっと深く関わつていきたいです。

こんなに楽しくて素晴らしい学修に参加出来たことに感謝したい。みんな優しくて、フレンドリーでたくさん話してくれて、おぢばは温かいところだなと思った。たのしかつたです。

## Web〈Happist〉予告!!

# Web〈Happist〉、 4月1日スタート!

教理コーナー、信仰エッセー  
それぞれ2本立てで読み応えあり!!

- ・学修 大学の部・高卒コースの様子もアップ!!
- ・らんだむくらぶでは、随時投稿を大募集!!!
- ・新らんくらトリオも登場…? 乞うご期待!!

他にも…



※内容は一部変更になる場合があります。